

令和3年度 第1回 大垣市行政改革推進審議会 会議録

日 時：令和3年8月5日（木）午後1時30分から午後2時30分まで

場 所：大垣市役所 4階 4-4会議室

議 題：第3次大垣市行政経営戦略計画 進捗状況の報告について

出席者（敬称略）

（委員）谷江 幸雄〈会長〉

小原 勝、野崎 道哉、高木 健志、杉田 邦隆、

雨宮 明日香、岩下 里美【計7人】

（市及び事務局）

岩崎 義博（総務部長）、安田 佳樹（行政管理課長）、

加藤 重徳（行政管理課主幹）、舟橋 雄太（行政管理課主任）、

竹内 実紗（行政管理課主任）

欠席者（敬称略）（委員）小林 一貴、今井 茂樹、竹村 公作、井原 拓、

多和田 智子

事務局

※ 委員の交代を紹介

石川隆義委員の後任として、大垣女子短期大学 歯科衛生学科長
小原 勝氏が就任。

※ 欠席者の報告（5名）

※ 行政の意思形成過程にあるものとして、一部非公開審議を宣言

＜議事進行については、大垣市行政改革推進審議会設置条例第5条第2項の
規定により、会長が会務を総理することとなっているため、以降の議事は
会長が執り行う。＞

市部長

＜会議冒頭あいさつ＞

会 長

※ 議事録署名者として、野崎道哉委員と高木健志委員を指名。

※ 事務局に対し、「議題1 第3次大垣市行政経営戦略計画 進捗状況の報
告について」の説明を要請。

事務局

※ 第3次大垣市行政経営戦略計画 進捗状況の報告についての説明。

会 長

- ・ただいま事務局から説明がありました。
- ・ご意見がありましたら伺いたいと思います。

委 員

- ・水道料金や税金、保険料など、PayPayを導入されたとのことですが、どの
くらいの方が利用していますか。若い方が多いですか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の市県民税の実績を申し上げますと、金融機関で納付された方が約4割、コンビニが25%、口座振替が30%、その他クレジットやインターネットバンキング、PayB、LINEPayなどありますが、PayPayは1.17%となります。件数で申し上げますと、全体が81,368件、そのうちPayPayが951件となります。 ・そのほか固定資産税は約800件、軽自動車税は約300件、約1%程度の利用率となります。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・推測では若い年代が多いかと思いますが、年代別のデータはとれていません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・PayPayなどは支払いの額を増やすことでなく、市税等に対する若い世代の関心を深める手段と捉えると良いと思います。 ・PayPayの利用を増やすよりも口座振替を増やした方が良いと思います。 ・もう1点、本審議会において、情報発信について、色々と他の委員を中心に提言していただいたことが採用され、非常に進化して良いと思います。引き続きよろしくをお願いします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口等市民サービスの充実のスマートフォンアプリのLINEについて、全国に先駆けて、大垣市がLINEの導入しているようですが、コロナ渦で対面することが不可能な状況で非常に良いと思いますが、導入した後、利用者からこういったご意見が入ってきていますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様ご存じのとおり、10月からLINEを活用して、小中学校欠席等連絡システムやAIが適切な答えを選んで答えてくれるFAQ、よくある質問などを導入しています。 ・このようにLINEを使いながら、様々なことをやっていますので、今後、担当課とも連携をしまして、色々な利用者、使っていない方の意見も含めてご意見を伺ってまいります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市税等の収納率について、すべて目標以上を達成されていて素晴らしいことだと思います。 ・PayPayの導入など色々なことを努力されてきたかと思いますが、令和3年度の事業に向けても含めて、特長的にこうしたことが良かったといったことはありますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・収納率の向上については、資料No.2の2ページをご覧くださいますと、市税に関しましては、令和2年度の収納率は93.5%、令和元年度は94.4%で0.9%収納率が下がりました。こちらはまさにコロナ渦の中で減少して

	<p>いるというのが確かに実態です。収納率は落ちましたが、目標の93.5%は達成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日や夜間の相談窓口の開設は、令和2年度は844件、令和元年度は1,089件とコロナの影響で少なくなり、文書・電話・訪問等による催告につきましても、電話は8,931件と、昨年は14,321件から減少しています。 ・努力としていいか不明ですが、スマートフォン決済を導入したことや国民健康保険料では、コロナ渦の中で自宅に伺えない中で、文書を2回送るとともに、通常1回目に送る納付書を、催告書の中にも納付書を入れるなどすることで、収納率が上がってきたと担当課から報告を受けています。コロナ渦で気付かなかった事に気づき、すぐに納付できるような工夫の中で、収納率を維持したというのが1つのポイントかと思います。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状ですね、大垣市民の行政またはコロナに対する意識は大変高いものがあると思います。と言いますのは、昨日大垣市医師会の方からお話を伺ったんですけども、今、高齢者のワクチン受給率が90%を超えたと、大垣市は、これは全国でもトップの率にきていると、施設があるということもさることながらコロナに対する意識が大変強い方々がお見えになるということで率が上がっていると言えらと思います。 <p>告知の仕方、お知らせの仕方をもっと工夫することによってこれだけ意識の高い市民のレベルがあるとするならば、知ることによってじゃあやろうといった意識、動機付けという素地があるのではなかろうかと思います。周知をさせる上での手段を年々新しい試みとして取り組んでいただければありがたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第三セクターの見直しについて、目標達成できた要因をお分かりになる範囲で教えていただけますか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第三セクターのところでございますが、行政は、土地開発公社という組織で一旦買収し、その後、行政が買い戻しを行います。しかし、なかなか行政が事業化しないことにより、塩漬土地がふくらんできました。それに対し国も地方行政も警鐘を鳴らす中で、本市は、オリジナルの公社健全化計画を作るとともに、行政経営戦略計画でも位置付けをしまして今まで計画的に買い戻しを実施してまいりました。 ・最初は約230億円を超す公社が保有する土地がある中で、事業化することや不要な土地については見直しをして、売却することで減らしてきました。 ・ご質問にありました何かしつかりした要因があつてということになりますと、健全化の計画を作ったことと、行政経営戦略計画で位置付けて、計画的に本市が事業化を進めてきたことが健全化が達成できた要因と考えて

	<p>おります。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・おそらく昔は、土地の価値は上がるものだとし、事業化があいまいな状態で公社に先行所得依頼をし、買収させてきましたが、時代が変わり土地の価値が下がり、財源もなくなり事業化もできなくなってきたということで全国的にも問題化されました。本市も計画を作り、不要な土地と必要な土地と、事業化する土地を区分し、職員の意識づけを行い、計画に基づいて事業を進めてきたこと、やれなければいけないとやってきた結果だと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信のところでお尋ねします。情報は市民の方が必要な情報をアップしていくかと思いますが、マタニティ教室のオンライン開催など、アップする優先順位や、またどのくらい市民の声を拾い、なおかつ市民に届くように広報をしているのかなど、現在の状況や今後の展望をお伺いしたいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどご覧いただきました避難所運営基本マニュアルなど 102 のコンテンツがありますが、昨年度にみなさんに第 4 次行政経営戦略計画のご意見を伺った時に情報発信が一番大切なんだと、わかりやすく動画でやったらどうなんだとご意見がありまして、秘書広報課が早急に対応しました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年 2 月に YouTube チャンネルを開設しました。実情としては、今は各課で作った動画をどんどん発信して、まずは知っていただき、情報が落ちてきた段階で、今後優先順位をつけてより必要なものを発信するという工夫が必要だと考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も YouTube の動画を作っていますが、ちょっとしたキーワードや言葉の使い方で見る人やアクセス数が全然変わってきます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を、何を先に持ってくるかとか、検索ワードによって、よく見ていただけるようになるということですね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・フォントとか形作りとかが重要になるかと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、興味を持っている人は見に来るんですよ。それよりも大事なことは、いかに多くの人に興味を持たせるか、興味を持った人が今度はリピータになるかどうかだと思います。かなり技術的に大変だと思います。行政管理課にお願いすることかどうかわかりませんが、面白かったら見に来るんですよ。興味があったら見に来るんですよ、それを継続させる

	のはなかなか大変だと思いますが。
委員	・うまく学生の方を巻き込み、市民協同につなげていくといいと思います。
事務局	・今、実は庁内で若手職員が実施しておりますので、まさに今のご意見を参考にさせていただきます。
会長	・ほかにご意見はございますか。
委員一同	※特に意見なし
会長	・昨年度で第3次行政経営戦略計画の計画期間が満了し、概ね目標を達成しました。今年度からは第4次計画の実施プランに基づき、引き続き進行管理に努めてください。
会長	※ 事務局に対し、「4 その他 令和3年度事務事業の検証依頼について」の説明を要請。
事務局	※ 令和3年度事務事業の検証依頼について説明。
会長	・ただいま事務局から説明がありました。 ・ご意見がありましたら伺いたいと思います。
会長	・特に3つ目のごみ処理券の問題は、非常に市民の方にとって関心のある問題だと思います。
委員	・私は大垣市に引っ越してくるまでは、ごみ袋有料化のところにしか住んだことがなく、このごみシールというのに違和感を感じますが、何かメリットがあって大垣市はシール制にされたんですか。
事務局	・詳細は担当課から説明させますが、導入当時ごみはタダで捨てれるものといった感覚が強かったのではないかと、その中でごみ処理量も多く、燃やすキャパも将来超えてくる想定の中、シール制度を導入し、みなさんの減量化によって、抑制を図ってきました。 ・基本的に、ごみはタダで捨てれるところからスタートして、一定数までは無料とし、それ以上これる場合は高い値段で有料化にしてごみの減量化を図っていこうという考え方でスタートしたものかと思います。 ・本来、無料で市町村が処理するといった意見も多かったのではないかと考えられますので、担当課に確認します。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・無料だからと、今はごみを削減しようとする方向にあるに、シールを貼って出せば無料という感覚があるから、ごみを減らそうという意識が低くなると思います。 ・町内で聞いた話ですと、ごみ袋が決まっていないから、規定外のごみ袋とかにシールを貼って出し、みんなに迷惑かけてしまうことがあります。私は、袋にすることによってごみの削減になりますし、ごみを処理するという意識が市民に芽生えるから統一した方がいいと思います。はがき代やシールを入れる袋、シールをもらった時に付属品が多く、これだけお金がかかっていて、さらに自分でもごみ袋を買ってそれに貼るから、すごく無駄が多いです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にある程度のごみ減量化は、シールでも達成できたと思いますが、限界が来たのかということもあります。 ・ごみシールを配る作業など自治会にかなりお世話になっているところもありますので、それも踏まえて改める時期なのかなと思われます。今までタダだったものが、いくらになるか分かりませんが有料になった場合、市民の方には抵抗がある方もみえると思います。いずれにしても、新たなごみ減量化を考えていく必要があることで今回ご意見を伺うものです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も今の意見に同じくなんですけれども、大垣市外から引っ越してきて、シールにすごく違和感を感じたうちの一人です。 ・まず乳幼児に対してはおむつの処理に対して、ピンクの乳幼児シールを1人あたり50枚ほど結構な枚数が支給されているので、小さなお子様がいらっしゃるご家庭においては、さほどごみを出すときにご苦労されていないと思うのですが、問題は、うち3人家族なんですけど、1人家族に対して80枚と、2~3人の家族に対しては10枚しか増えていないんです。枚数をどういった基準で決められたのかとすごくいつも疑問に思っています。 ・うちの自治会では、班ごとに班長さんがごみシールを自治会に加入されている方に対して、お配りするという形をとっていますが、色々とトラブルがありまして、ご不在の時にポストに年間の枚数をまとめて入れたはずが、それが入ってなかったため、1枚150円、自治会に返還すると10円が自治会に入るの、金銭トラブル的な問題がうちの自治会では何件か起っています。 ・あと、独居の高齢者の方などは、介護者がいるご家庭には社会福祉協議会から福祉用シールを無料でいただけるので、4月に回収すると30枚くらい余っている人もたくさんおられます。 ・昔、私が住んでいた地域では、スーパーで買うことができる5円の有料袋自体がゴミを出すときに使えるといったシステムを使ってまして、今見せてもらった袋よりは若干小さいものですが、スーパーで買った袋の中に収

	<p>められればそれで出せました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで無料で 80 枚もらっていたものを購入しなければいけなくなるという、相当なご不満も出ると思います。色々ご意見はあると思いますが、私は無料で渡す枚数が多すぎるんじゃないかなと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ袋の金額を、当審議会でお決めいただくといったことは考えておりません。ごみ減量化やごみ袋のことにしましては、次回、クリーンセンターが説明させていただきますが、その外部団体である廃棄物減量等推進審議会でも今後の方針を審議すべきと考えております。 ・私どもとしましては、約 2,100 万円もの経費がかかっていることや、自治会やご家庭で起きているトラブルや問題を踏まえて、行革審として提言をしていただきたいと思いますと考えております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今、回答がなくもいいですが、岐阜市と岐南町は無料ですよ。無料といってもからくりというか、別口でなんらかの、岐阜市がそれを回収するにあたって、トータルのごみ減量化としてなにかやっているのではないかと考えます。今後、行革審で有料ごみ袋にするか、無料にするかを審議するにあたり、当然無料にしてほしいといった意見がたくさんあると思うので、選択肢を決めるための、岐阜市などの情報をいただくと大変審議しやすくなると思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回担当課から説明させていただきます。私の考え方でございますが、岐阜市はごみの減量化の部分の政策が別にあるのではないかと思います。袋やシールの考え方ではなく、本市は、シールの枚数という制限をかけていく中で、ごみを減らす対策が 27 年続いてきました。今回、シール制を検証し、袋に変えるなど、行革の観点から、減量化できないかをご審議いただくので、岐阜市や岐南町の状況につきまして、ごみを減量化するための政策、そちらの方がよければ大垣市でも検討しないといけないので、ご報告させていただきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他の委員からも発言がありましたが、ごみシールだと、モラルによると思いますが、45L が指定のサイズに対して、70L の袋にシールを貼ってだしている方もいます。当番でごみ置き場のところを庁内で管理していますが、大きい袋は回収されないのが、嫌ですが、町内で中をあけて、自前で袋を出し合って対応しています。シールはコストもかかります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理の基本計画が大垣市でございますよね、一般廃棄物処理の基本計画がございまして、この中にごみ袋の有料化の方針は入っていないんですか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に位置付けられていると思います。また、廃棄物減量等推進審議会でもごみ袋の有料化については、話題になったことがあると聞いています。 ・次回、ご用意させていただき、ご説明させていただきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・行革の立場からのこの問題の扱い方といいますか、切り口の中心は、費用の問題になるかと思います。一般的な環境問題に対応するといったことはもちろんこちらで議論することもありうると思いますが、廃棄物減量等推進審議会で議論されることが中心のテーマになってしまいますので、われわれ行政改革推進審議会は、切り口としては、どういったような切り口でやっていったらいいか、確認させてください。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・約 2,198 万円の事業費の中でシール券の印刷代が大半占めており、使わなかったシール券の報償金や処理券配布の手数料など、ごみの減量化政策に対する費用対効果をご議論していただくことが、行革としての趣旨と考えております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の中でも岐阜県の中でも本市でやっているようなごみの無料化は、皆無に近いですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回担当課から具体的な目的、事業内容さらには他市の状況、社会情勢などを皆様にご説明して、ご意見を頂戴したいと思っております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次回、検証を実施し、提言案をまとめたいと思いますのでよろしく願います。 ・その他、全体を通じて、何かございましたら、ご発言をお願いいたします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化推進事業につきまして、木はともかくとして、市役所の1階にメモリアルの写真撮影場所を作られましたよね。よく似ていると思うんですよ、違うかたちでメモリアル事業をやっていくという発想をされたことが、若い人の発想かと思いますが、非常によかったと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見はございますか。
委員一同	※特に意見なし
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、特に、ご発言もないようですので、これで終了させていただきます。進行を事務局へ返します。

事務局	<ul style="list-style-type: none">・谷江会長をはじめ委員の皆様方には、貴重なご意見をいただきありがとうございました。・次回の審議会は8月26日（木）午後1時から6階の6-3の会議室で開催させていただきます。・以上をもちまして、令和3年度第1回 大垣市行政改革推進審議会を終了させていただきます。 <p>※ 閉会（終了時刻：午後2時30分）</p>
-----	--